

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0270201916		
法人名	社会福祉法人弘友会		
事業所名	グループホーム サン・フラワー		
所在地 (電話番号)	〒036-8066 青森県弘前市向外瀬字豊田320-1 (電話) 0172-34-3434		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年3月12日	評価確定日	平成22年5月19日

【情報提供票より】(平成 22年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 9月 10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	6 人	常勤 6人, 非常勤 人, 常勤換算	5.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造陸屋根 造り		
	3 階建ての 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	6,000 円	その他の経費(月額)	9,000~冬期15,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	260 円	昼食	260 円
	夕食	280 円	おやつ	200 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	6 名	男性	0 名	女性	6 名	
要介護1		名	要介護2	1	名	
要介護3	3	名	要介護4		名	
要介護5	2	名	要支援2		名	
年齢	平均	78.3 歳	最低	73 歳	最高	82 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	弘愛会、あべ歯科医院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>弘前市市街地からのアクセスが容易で交通の便が良い場所にあり、併設されているケアハウスの2階部分がグループホームである。利用者の方々が安心して暮らせるよう職員一丸となり支援しており、職員の言動や支援内容からも感じられる。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で改善課題となった項目については、職員全員で話し合い、改善に向けて前向きに取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス見直しの良い機会と捉え、職員全員で前回の評価を基に話し合い、気づきを共感できるように取り組まれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議には様々な方の参加があり、地域の情報や他グループホームの情報をいただいたり、事業所の取り組みへの活発な意見交換がされている。介護保険の窓口だけでなく、生活福祉課への訪問も毎月行い、質の向上に向けた情報交換がされている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>日頃から家族との連携が多く、現況を共有できるような関係が築かれている。また、普段から意見を話せるような信頼関係の構築や環境づくりに努め、運営推進会議でも意見をいただいている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣のグループホームとの合同行事での行き来や、地域の老人クラブへ所属され、毎月の定例会や集いに参加したり、弘前市総合福祉作品展に出品するなど、積極的に地域と交流を図っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で話し合い、地域の中での暮らしを支える事を意識し理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の全体会議でも理念を念頭に置きながら話し合い、個人の目標に取り組み、事業所内にも大きく掲示されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣のグループホームとの合同行事での行き来や、地域の老人クラブへ所属し、毎月の定例会や集いに参加したり、弘前市総合福祉作品展に出品するなど、積極的に地域と交流を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>サービス見直しの良い機会と捉え、職員全員で前回の評価を基に話し合い、気づきを共感できるように取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議には様々な方の参加があり、地域の情報や事業所での取り組みへの活発な意見交換がされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護保険課の窓口だけでなく、生活福祉課への訪問も毎月行い、質の向上に向けた情報交換がされている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度に対しての認識を重要視し、研修に参加したり勉強会を行いマニュアルも作成し、支援できるように取り組んでいる。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止マニュアルを作成し、勉強会を実施したり職員同士でケアの観察を行い、防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>申し込み・見学・説明から入居にいたるまで、一方的にならないようにゆっくりと時間をかけて進めている。また、重度化した場合や看取りについても説明し同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>通院や面会時等において家族との連携が多く、現況を共有できるような関係が築かれている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段から意見を頂けるような環境づくりに努め、運営推進会議でも意見をいただいている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内での異動がある為、利用者にはきちんと紹介、説明し、動揺が最小限にできるように取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・内部研修や母体での研修も含め参加しやすい環境となっており、研修後の伝達もされている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との合同行事や併設施設との交流もあり、参加したり招いたりなど、積極的に交流する機会を持っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設施設を活用したり家族との関わりを大切に、馴染みのある生活ができるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴を考えながら作業や行事の中で喜怒哀楽が共有できるように、家族と一緒にケアを進めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>随時意向を確認しながら意向の把握に努め、把握しづらい場合は本人の立場に立って考えている。</p>		<p>生活歴からだけでなく、日々の生活の中で何気なく話される利用者の言葉や態度を記録できるような工夫をし、思いや意向の吸い上げに努める事に期待したい。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人が暮らしやすいように、本人・家族の希望を大切に、その人らしい生活が送れるように配慮している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しの他に変化が生じた場合は、速やかに現状を踏まえた計画の見直しに取り組んでいる。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>併設の施設や車を活用し、柔軟に支援できるように取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の協力も得ながら希望の病院を受診し、重度化した場合は主治医と家族を含めた話し合いもされている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の指針を作成し、入居時から家族や本人とも話し合う機会を持ち、一緒に考えることで前向きな話し合いができています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳を大切に誇りを傷つけないように、特に排泄面は配慮している。		個人情報の記録等の保管について、取り出しやすさだけでなく、他者の目からも見えにくいような配慮に期待したい。
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一応の生活リズムはあるが、職員の都合を優先しないように、本人の状態を確認しながら希望に添えるよう支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も一緒に同じ物を食べながら、さりげない支援を心掛けている。また、配膳・下膳の手伝いもお願いし、一緒に行っている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴日を設け、併設施設の温泉を利用しゆったりとした入浴ができています。また、ホーム内の個浴も活用し入浴日以外でも利用出来るようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来るだけ一緒に作業をし、当番制でいろいろな役割を持っていただき、生き生きとした生活が出来るように工夫している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族の協力も多く得られ、急な場合は直ぐに対応出来ない場合もあるが、併設施設も活用しながら独自の支援ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを作成し、職員全体での勉強会も行い共通の認識を持って取り組まれている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>併設施設へ自由に行き来できるようになっており、職員が協力しながら鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>併設施設と合同の避難訓練を年2回行っている。</p>		<p>地域との連携が避難訓練の予定と合わない為に参加協力が得られていない状況なので、時期や方法について工夫することに期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの摂取量を個別に把握され、糖尿病等の方への配慮も考慮した対応をしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成している。手洗い、うがい、手すりの消毒等を行い、予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	手作りのものを飾ったり、季節が感じられるように工夫をするなど、共有空間は落ち着きのある雰囲気づくりに努めている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮			
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ馴染みの家具や持ち物を利用して頂き、居心地の良い空間となるよう工夫されている。		

 は、重点項目。